

C&C

Cure and Care
communication

第99号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 びる
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

ナカムラ病院開設40周年記念

昨年十二月六日は、故中村英雄前理事長がナカムラ病院(中村病院)を開設して四十周年にあたる日でした。この日を記念して、十二月四日に病院大ホールにおいて、「笑点」で御馴染みの三遊亭好楽一座四名による落語と太神楽曲芸の公演会を開催しました。

近隣の方や法人の運営にご協力いただいている方など、約三〇〇人の方にお越しいただき、楽しい二時間を過ごしていただきました。そして十二月五日には、ANAクラウンプラザ広島において、医療法人ピーアイエーと社会福祉法人双樹会の合同忘年会を開催しました。上野真樹さんのバイオリンと、ナカムラ病院看護師の前田幸代さんのピアノによるアンサンブル演奏、三遊亭王楽さんの落語を楽しみました。

また、ナカムラ病院開設四十周年であるとともに、特別養護老人ホーム陽光の家開設三十周年、介護老人保健施設まいえの開設二十五周年にもあたります。昨年九月には、介護医療院ひいろを開設しました。みなさまのご協力により、高齢者の療養を目的として開設したナカムラ病院(中村病院)が、いろいろなサービスを提供できる法人へと発展してきました。今後とも、職員一同幸齢社会創造に向けて邁進してまいります。これからもご指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。

ナカムラ病院 事務部長 若宮 信二



鏡味仙志郎



三遊亭好楽



三遊亭王楽



三遊亭はち好

病院開設 40周年に思うこと

40th anniversary
1978-2018

医療法人ピーアイエー 理事長
中村 友美

昭和53年12月6日。ここ坪井の地で中村病院の歴史は始まりました。

創設者であります私の父 中村英雄は、昭和13年呉市生まれ。戦後の貧しい混乱期に少年時代をおくり、大学在学中は安保闘争を経験し、オリンピック見たさに東京の病院でインターン時代を過ごしたのちは広島で精神科医として研鑽を積みながら高度経済成長を目の当たりにし・・・、そんな彼なりの昭和を生き抜いてまいりました。ものすごいスピードで移り変わっていく社会。その中での個人・家族のありかた見つめるうち、日本はやがてかつてない高齢化をむかえ、それはこれからの日本社会において大きな問題になるだろうと父は考えるようになりました。

高齢者とその家族のための病院を作ろう。そう思いたち、父は広島中の土地を見て回り、良いご縁に恵まれ、この地に出会いました。そしてその瀬戸内の景色の素晴らしさに魅了され、彼はここを自分の理想の場所に、第二の故郷にすると決め、40歳の時、病院を開設しました。

聞いたこともない老人専門の、それも痴呆(認知症)の病院ができること聞き、昔からの地域の方々にとっては大変な戸惑いであったと容易に想像されます。ですが、そんな中でも皆さんは父の思いを理解してくださり、我々を温かく迎え入れていただき、これまで数え切れないほどのご支援をいただいております。そのおかげで中村病院はしっかりとこの地に根付くことができました。

それから早40年。昭和は平成となり、父も一昨年79歳でその生涯を閉じましたが、激動の高齢化社会の中、中村病院は医療法人ピーアイエーグループとして少しずつその姿かたちを変えながら、この場所にあり続けて参りました。

そして41年目のこの年。平成も終わりを迎えようとしております。当時のことを知る職員も流石にもうほとんどおりませんが、父の思いや理念が今でもいたるところに息づいているのを感じております。

そんな我々職員一体となって、これからの新時代を更にしなやかに、そしてたおやかに、駆け抜けてまいりたいと思っております。

どうぞこれからも我々ピーアイエーグループをよろしく願いいたします。



昭和53年開設当時



昭和57年西棟増設当時



地鎮祭、起工式



鍬入れの儀

陽光の家開設 30周年を迎えて

30th anniversary
1988-2018

特別養護老人ホーム 施設長
松井 誠

昭和63年5月20日、三宅の地にて産声をあげ、平成の時代とともに歩み続け、特別養護老人ホーム陽光の家は、このたび開設30周年を迎えることができました。これはひとえに、故中村英雄前理事長、故天田猛前施設長のお父上、故天田公彦氏、両氏のご尽力の賜物であり、社会福祉法人双樹会の礎を築いていただきました。昭和63年、当時の佐伯区としましては、初めての特別養護老人ホームの開設ということで、新聞、ニュース等で数多く取り上げられました。30年の歴史におきまして、歴代の3名方の施設長、歴代法人役員の方々、地域の方々、多くの職員、数多くの関係者の方々のご努力にて発展して行くことができました。その多くの方々の功績の結集で、ここ五日市の地にて、介護事業の発展、地域貢献に寄与させていただくことができました。今後も、社会福祉法人の使命のもと、引き続き事業の継続をして行かなければなりません。

介護業界におきましては、措置制度から契約の介護保険制度への移行、地域包括支援センターの創設、地域支援事業の新体系、地域包括ケアシステムの推進というように時代とともに、社会情勢、社会状況の変化の中で介護業界の施策も変遷してまいりました。今後は、その時代における社会的背景、時代のニーズの変化を一早くキャッチし、施設運営に反映していく必要性があります。今後もピーアイエグループとともに、双樹会陽光の家は介護事業の発展、地域貢献の一翼を担ってまいります。

昨年10月21日、施設内におきまして、陽光の家開設30周年記念行事を執り行なわせていただきました。当日は、ご来賓の方々、ご家族、入所者さま、職員総勢150名ほどの賑わいとなりました。式典では、中村貴志理事長の挨拶にはじまり、双樹会の由縁、特養、デイサービスでのさまざまな行事、節目のイベント、施設の変遷など、30年の歴史の歩みを映像で振り返りました。また30年の長きに渡って永年理事をお勤めいただいた理事の方々、10年、15年の永年入所者の方々への感謝の意を込めて表彰をさせていただきました。イベントでは歌手の南一誠さんをお迎えして、「ひろしま天国」「それ行け、カーブ!」など約1時間の熱唱の歌謡ショーを行いました。実は、南一誠さんは、開設10周年においても、お越しいただいており、20年ぶりの歌謡ショーとなりました。その後は、ケーキバイキングにて、南さんを囲んで皆さまとともに楽しいひとときを過ごすことができました。

平成30年のピーアイエグループにおきましては、介護老人保健施設まいえ25周年、陽光の家30周年、ナカムラ病院40周年、また介護医療院ひいろの開院というように、大変大きな節目の1年となりました。また2019年は平成の時代が終わりを告げ、新しい元号の幕開けとなります。まさにピーアイエグループの新しい時代の幕開けと言っても過言ではありません。これからのピーアイエグループはじめ陽光の家は、地域の皆さまのご期待に沿えるよう努力してまいりますので、今後とも引き続き宜しくお願い致します。



理事長の挨拶



歌謡ショー 南一誠さんをお迎えして

😊😊😊😊平成30年😊😊😊😊

満足度調査結果報告

平成28年に続き、この度も満足度調査を実施致しました。まずは、お忙しいなかアンケートにご協力いただいたご家族の皆さまに、この紙面を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

当院では2年に1度、入院患者さま、退院患者さまを対象に満足度調査を実施しております。調査項目は前回と同じく全9項目（①医療・看護・介護について②職員の接し方について③療養生活について④食事について⑤院内や室内の環境、設備について⑥情報提供について⑦プライバシー保護について⑧面会について⑨その他）といたしました。回収率は、入院患者さま56%、退院患者さま42%でした。

さて、この度の調査結果ですが、入院患者さま・退院患者さまともに全体的に高い評価をいただいております。コメント欄にも多くの感謝、激励のお言葉を頂戴し、身の引き締まる思いです。より一層のサービス向上に向けて、職員一丸となって取り組んでまいり所存です。その一方で、厳しいご指摘や要望も寄せられております。いただいたご意見の中で、改善を要する必要があるものについては職員間で情報を共有し、改善に向けて検討いたします。

今回の調査を通して、皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止め、職員一人ひとりが日々の業務について見直すことができました。今後も、患者さまご本人が少しでも安楽に入院生活を送っていただけるのはもちろんのこと、ご家族の皆さまにも患者さまを安心してお任せしていただけるように努めてまいります。

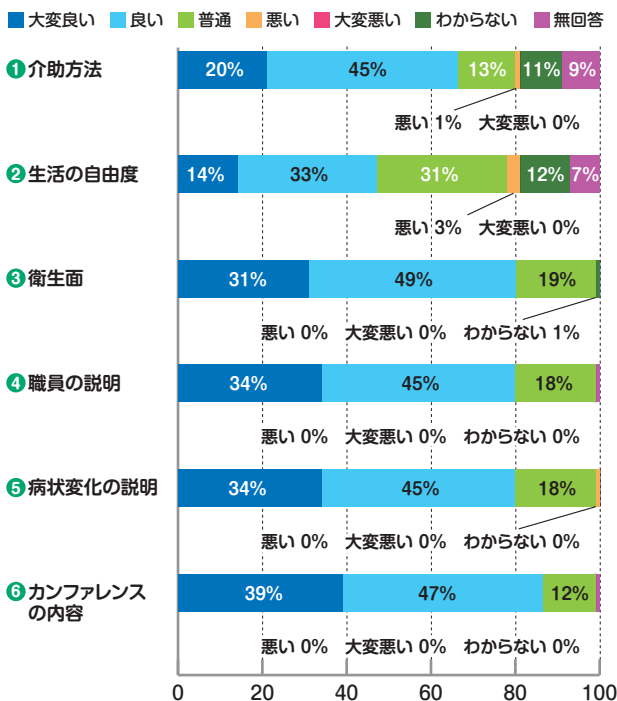
地域連携センター 肥中 優実

掲示案内

満足度調査結果のグラフを、病院内の各掲示板に掲示しておりますのでご覧ください。
また、ご自由にお持ち帰りいただけるよう病院受付に設置しております。

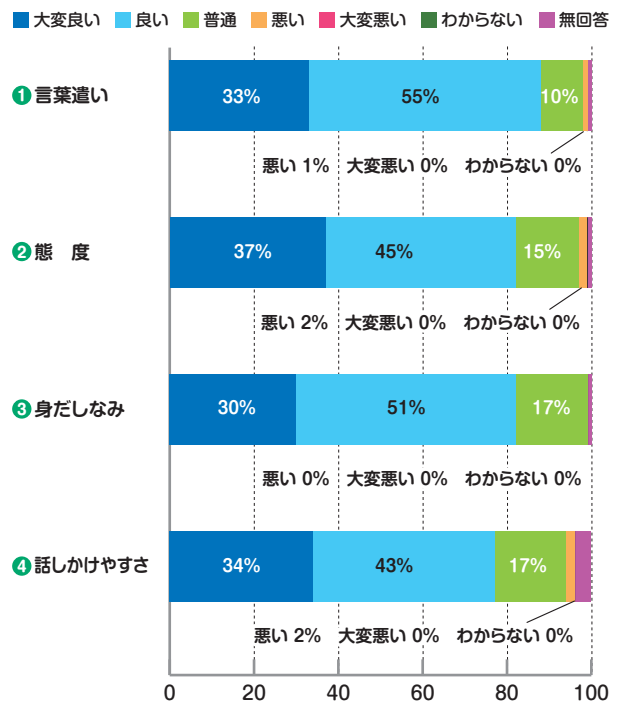
●入院患者さま

① 医療・看護・介護



●退院患者さま

② 職員の接し方



平成三十年九月十三日と十一月十三日に五日市観音西小学校の二年生十六名と三年生九十一名の体験学習訪問がありました。

初めに、中村理事長より「皆さんの地域にあるナカムラ病院ってどんな病院？」というテーマでパワーポイントを用いて小学生にも分かりやすいお話がありました。その後、グループに分かれ屋上・診察室・薬局・連携センター・歯科・X線室を廻りました。それぞれの職種の職員から聞く話にキラキラ目を輝かせ真剣にメモをとる姿が印象的でした。大ホールでは体験コーナーを設け、白衣を着て聴診器で心臓の音の確認をしたり、直

五日市観音西小学校 体験学習

皆さんの住む地域にある
ナカムラ病院ってどんな病院？



接医師から超音波画像を見せてもらい感動の声。他のブースでは、注射器で水を吸ってみたり車椅子に乗ったり、子どもたちの好奇心旺盛で活発な姿に、私達が元氣をもらえた一日でした。

ナカムラ病院

看護部長 撰 敬子



RUN 伴に参加しました

—たすきを繋いで日本を縦断—



皆さん、RUN伴ってご存知ですか？

RUN伴は「NPO法人認知症フレンドシップクラブ」が主催しているイベントです。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症の人もそうでない人も皆でたすきを繋いで日本を縦断します。二〇一一年に第一回が開催され、二〇一七年からナカムラ病院として参加しています。

今回は平成三十年十月二十一日、晴天の中開催されました。デイケアから利用者さま三名と職員・ご家族十九名が参加し、病院玄関から楽々園までのコースを担当し、それぞれの力を出し切りました。広島では、西・北・東ルート之三コースからパルコへ集合し、市役所までウォーキング。市役所では勇ましい太鼓の演奏が迎えてくれ、一〇〇名以上の方が笑顔でゴールインしました。参加されたご家族から、皆さんと出会えてよかったですとお言葉があり胸が熱くなりました。

認知症の方が参加されることで、認知症になってもやれる力がある、楽しい気分も味わうことができ、また一緒に走ることが認知症の方を支える一つの方法です。病気があってもなくても、自分の居たい場所で安心して暮らせる、そんな温かい優しい地域を目指して今後も活動を続けます。

デイケア にぎや家

主任 藤間 智子



私たちこんなことを発表してきました

第26回日本慢性期医療学会 鹿児島県大会

超少子・高齢社会 ～慢性期医療からの提言～ (多死、人口減少、労働力の低下、経済力の衰退に向き合う)

会期：2018年10月11日(木)～12日(金)

会場：城山観光ホテル

ひいろからは2名が発表しました。



入浴の業務改善 ～入浴の職員の身体的負担を軽減することを目指して～

介護医療院ひいろB3 介護職 箕越 正浩

当病棟では以前、入浴日の男性職員の確保が困難なことや、体格差のある職員でペアになったり、女性同士でペアになったりすることもあり、職員の身体的負担が大きく、日常業務にさしつかえることもありました。今まで使用に時間がかかるなどの理由で使っていなかった電動ストレッチャーを導入して業務改善に取り組みました。導入十か月後にアンケートを取り60～80%のスタッフから身体的負担が軽減出来、安全に移動出来たと回答を得ました。今後も職員の身体的負担の軽減と患者さまの安全のために、介護する側もされる側も安全で負担のない入浴介助の取り組みを続けていきたいです。



職員の病棟目標に対する意識変化について

介護医療院ひいろB1 看護職 泊 紀子

B1病棟には介護度の高い長期入院を必要とする患者さまが多く、療養環境がより質の高いものであるために、職員一人ひとりが病棟目標の理解を深めることを目的としました。病棟目標の5S活動の「躰」は馴染みが無いためか、理解・実践ともに変化が見られませんでした。このことから話し合い、伝達し、全職員が共有出来る環境作りが必要だと考えました。今回の研究により、病棟目標の理解を深め唱和することで職員の意識が高まりました。今後も職員全員がさまざまな情報を共有、実践し、より良い職場環境にしていきたいです。

第42回中国・四国精神保健学会 広島大会

精神保健・医療における他職種連携を目指して

会期：2018年11月22日(木)～23日(金・祝)

会場：広島県医師会館

地域連携センターからは1名が発表しました。



地域連携センター にぎや家部門
主任 中森 一宏

デイケアにぎや家では、在宅生活を支えるためにさまざまな対応を行っています。今回ひとつの事例をもとに、重度認知症患者デイケアにぎや家がどのような役割を担っているのかを研究しました。長く在宅介護を続けるためには在宅環境の見直しや、日常生活動作の維持・医療的サポートなどはもちろんのこと、家族のサポートも同じくらいに大切な役割ということも改めて確認することができました。今後もにぎや家で過ごす6時間だけを支援するのではなく、在宅での残りの18時間を見据えた支援を心掛けていきます。

第29回全国介護老人保健施設大会 埼玉大会

彩ろう!豊かな高齢社会を～老健は地域づくりの担い手です～

会期：2018年10月17日(水)～19日(金)

会場：ソニックシティ・パレスホテル大宮

まいえからは1名が発表しました。



拒否のないケアをめざして ～ユマニチュードで探る～

まいえ2 介護職 森吉みどり

認知症による介護拒否のある入所者さまへの対応に「ユマニチュード」という手法を用いて職員の意識改善による介護拒否軽減の効果を検証する取り組みを発表しました。自らの変化に戸惑い、不安を感じて混乱され大声になるなどの心の痛みに寄り添うため、病棟会での意見交換やアンケート実施、ユマニチュードの手法が拒否なく行えたかの自己チェック表への記入などで、職員が統一したケアを行い実施前に比べて入所者さまの良い変化を感じることができました。今後もユマニチュードを継続し尊厳を守るケアに努めたいと思います。

デイケアにぎや家では、毎月季節にちなんだ行事を行っています。一月には新春カルフタ取り大会が行われました。ことわざのかるたで難易度は高かったです、集中して取り組まれていました。時折「私の方が早かったよ」「いや、こっちよ」などの言葉も飛び交ってはいましたが、皆さまとても楽しまれていました。かるたの後にはにぎや家特製の手作りおは

にぎや家

行事だより

新春かるた取り大会



ぎを食べ、その美味しさに自然に笑顔が出ていました。今後も皆さまに楽しんでいただけるよう、楽しい行事を考えていきます。

地域連携センター
にぎや家部門主任 中森 一宏

いきいき行事タイムズ

10月

- 秋の運動会、誕生日会(まいえ2)
- 映画鑑賞(B5)
- 秋の食事会(にぎや家)
- B1~B4合同運動会(リハビリ)
- 小運動会(B7)
- 家族会(つばい)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 秋の運動会(A3)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- 秋の大運動会(まいえ1)
- 映画上映会(B6)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 開設30周年記念式典(陽光の家)
- 法話会(教専寺)(陽光の家)
- 物故者法要(陽光の家)

11月

- 外食(つばい)
- さあ頑張るぞ~!!風船バレー大会(B6)
- 大正琴演奏会(全体行事)
- 紅葉狩りゲーム(A3)
- ピンゴゲームとお誕生日会(まいえ2)
- ケーキバイキング(B5)
- 運営推進会議(つばい)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- ケーキバイキング&歌会(B7)
- 秋のバスハイク(にぎや家)
- ケーキバイキング(まいえ2)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 三世代交流(陽光の家)
- 法話会(正楽寺)(陽光の家)

12月

- クリスマス会(B6)
- クリスマス会(B7)
- クリスマス会(全体行事)
- お楽しみ会(A3)
- 年忘れカラオケ大会とお誕生日会(まいえ2)
- クリスマス会(B5)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 年末カラオケ大会(にぎや家)
- クリスマス会(つばい)
- クリスマス会(まいえ1)
- 忘年会(陽光の家)
- 法話会(浄教寺)(陽光の家)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 慰問(実り会)(陽光の家)
- 慰問(大正琴)(陽光の家)
- 慰問(そよ風)(陽光の家)





認知症カフェ だより



認知症カフェ サロン・ド・ファミーユは、おかげさまで地域により根付いた存在になった感があります。これもひとえにご来店いただきお客さまのおかげであると毎度感謝いたしております。

さて、今回は一月十八日に、理事長 中村友美の中学の同級生というご縁がきっかけで、地元佐伯区出身の指揮者、林直之氏を講師にお迎えし開催いたしました。林氏は、近年ではイタリアのロータ国際指揮者コンクールにおける二年連続入賞、広島交響楽団への客演など、数々の輝かしい受賞歴・ご経歴をお持ちの気鋭の指揮者であり、この日は、「指揮者と一緒に頭の体操」と銘打ってご講演いただきました。

指揮者のお仕事について、たいへんわかりやすく、しかも時折ユーモアを交えてお話いただいた後、林氏のピアノ演奏に合わせて

ご来店の皆様全員で三拍子と四拍子の曲の指揮を体験いたしました。

「途中で分からんようになりそうだった。でもええ頭の体操になったよ」

「今日は本当に楽しかった。話も面白くていい勉強にもなりましたよ」

若きマエストロの洒落な雰囲気と楽しいお話に、皆さますっかり魅了された様子で、いつにも増して楽しいひと時となりました。

林氏は講演後、「皆さん手の動きもしっかりついてきておられた。もう少し難易度を上げてもらったかったかな」と振り返っておられました。

認知症カフェサロン・ド・ファミーユは、今後もユニークな催しを企画準備中です。皆さまぜひお気軽にお立ち寄りくださいませ。

ナカウラ病院 臨床心理室 厚井 真一



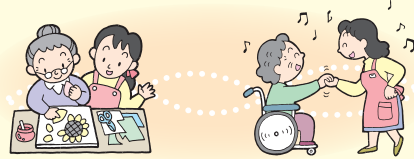
ピーアイエー理念

我々グループは幸齢社会を創ります

我々グループは、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、残りの人生を安心して幸福に送って頂ける環境を提供します。

看護・介護の理念

我々看護・介護職は、患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って安心・安全な療養生活ができる看護・介護を提供します。



編集後記

冬の寒さも緩み始め、春の始まりを感じられる季節になりました。私は大学入学を機に広島にやってきたのですが、毎年この季節になると、新生活に向けて慌ただしく準備をしていた当時は懐かしく思い出します。それから時は流れ、広島での生活も今年で十年を迎えます。節目の良い一年にしたいと思っております。

(H)



平成31年 2月 ▶ 5月

今後の予定		※展示内容は一部変更する場合があります。	
展示場所	期間	内容	
第一展示コーナー	2月1日 ▶ 4月中旬	平 昭治	津和野街道百絵図(其の一)
	4月中旬 ▶ 5月下旬	お散歩カメラ展 -イタリア編- 撮影・岡田 文博	
第二展示コーナー	2月1日 ▶ 4月中旬	平 昭治	津和野街道百絵図(其の一)
	4月下旬 ▶ 6月上旬	五日市高校	美術・書道展

※シリーズ「看取りについて 第4回」は次号に掲載いたします。